

# 進路便り

令和6年2月2日

進路指導部 No. 8

都立港特別支援学校長 岡戸 良雄

進路指導主任 原 正佳

進路便り担当 太田 朱音

寒い中でも、冬晴れの心地よい日々が続きます。早いもので三学期も一か月が経過しました。三学期も現場実習や職場見学など、進路行事があります。短い学期ですが実りあるものができるよう、体調管理をよろしくお祈りします。

さて、今号では、PTA 進路講演会の様子と、ミニコラム「職業適性とは？」についてお伝えします。

## ■PTA 進路講演会「卒業生の保護者のお話を聞く会」

1月24日(水)午後に本校体育館にて、卒業生の保護者6名にお越しいただき、卒業後の生の声を聞く会が実施されました。当日は、60名程の在校生保護者の方が参加されました。

第1部では、それぞれのお子さんの障害、卒業後の進路先、生活の様子、お金の使い方、余暇、障害基礎年金など、在校生保護者の方々が特に興味のある内容について、限られた時間の中でしたが、非常に濃い内容をお話いただきました。進路先決定までの流れは様々でしたが、「親の想いが先行していたが、最後は本人が『ここに行きたい』という進路先に決めて良かった。本人が笑顔で生き生きと実習ができたところに行き、卒業後も充実した様子で通っており、保護者としても安心してている」といったお話がありました。

また、「卒業後の生活に一番大切なことは、生活習慣や挨拶ができること。」といったお話もありました。苦手なことがあっても、本人の長所を認めてもらえる進路先に出会えることで、自信をもって取り組み、成長しているのだと感じました。

第2部は、座談会形式で実施しました。障害基礎年金の申請では、実際の受給にあたり、どんな準備をしたか等、具体的な話をお聞きすることができ、とても参考になったことと思います。PTA 進路部の皆様、今回の進路講演会実施にあたり、御尽力いただき、誠にありがとうございました。



## ■ミニコラム 「職業適性とは？」

働くために必要な力とは何でしょうか？様々な考え方があると思いますが、もっとも大切な部分は基礎となる「就労意欲」ではないかと考えます。

企業における障害者雇用率は2024年度2.5% \*1、将来は2.7%まで計画されており、それを見越して企業側の障害者雇用も積極的です。また、超短時間就労も雇用率としてカウントされるようになり、企業就労の選択肢が広がりつつあることは事実です。しかし、「就職すること」が目的ではなく、「働き続けること」が目的であるならば、「なぜ私は働くのか？」を考えることこそ重要ではないでしょうか。そしてそのことは、自分に合った仕事＝職業適性を見付けることにつながると考えます。

もちろん、職業適性のみを考えるのではなく、自身の健康管理能力や日常生活管理能力、基本的労働習慣などトータルでスキルアップを図ることも重要です。

皆様、様々な御意見をお聞かせください。

就職準備性ピラミッド



\*1 障害者雇用促進法上の法定雇用率 対象事業主の範囲40人以上